

きざはし

校訓 心美しき二中生たれ 心強き二中生たれ
ひたちなか市立勝田第二中学校
学校だより 第17号
令和5年3月24日(金)

校庭の桜の花も咲き始め、本格的な春の到来を感じるようになってきました。本日、令和4年度の修了式を迎えることができました。今年度も新型コロナウイルスに影響を受けた「コロナと共存する1年」となりました。しかし、保護者の皆様のご理解とご協力により、6月の関西方面修学旅行・2年生宿泊学習・1年生校外学習と不安な中ではありましたが予定どおりに実施ができました。また、運動部の総体も市内大会から開催でき、全国大会まで実施することができました。本校ではソフトテニス・柔道競技・水泳競技が関東大会に出場し活躍をしてくれました。更に、吹奏楽部(マーチング)やコーラス部も、昨年度参加を辞退した悔しさを跳ね返すかのようなすばらしいステージ発表をしてくれました。校内行事では種目や開催方法を工夫し、新しい体育祭を9月に開催しました。11月の合唱祭も保護者の皆様にはオンライン配信となりましたが、全校生徒を体育館に集め、各学年の発表を聴く伝統を繋ぐことができました。生徒たちは、与えられた環境の中でアイデアを出し合い工夫し、前向きに全力でさまざまな活動に取り組んでくれました。それらの活動を通して、1年生は、心身ともに大きく成長したと強く感じます。また2年生は、「いよいよ自分たちが最高学年!」という自覚を背中に感じるほど頼もしく成長しています。生徒たちは、たくさんの思い出や夢を胸にそれぞれ進級します。この1年間、自分の成長できた面と十分に成長ができなかった面を確認することが大切です。改善できるものは改め、新たな目標を実現するために努力することが更なる成長に結びつくと思います。

年度末は、私たち教師も全ての教育活動を通して、生徒一人一人の個性を伸ばすことや豊かな心を育成すること、学力の定着は図れたかなど、自分の指導方法について反省する機会にしています。ご家庭におかれましても、お子様と一緒にこの1年間を振り返っていただき、新たな学年での目標を明確にしていいただければと思います。

最後に、この1年間「きざはし」やホームページを通して、いろいろなことのお知らせしてきました。今日までの学校へのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(校長 高木 克己)

< 1年間を振り返って >

【1年5組 嶋田 梨心】



勝田二中に入学して1年が経とうとしています。私はこの1年、とても充実した日々を送ることができました。中でも印象に残っていることがいくつかあります。

まず1つ目は、生徒会の書記に立候補したことです。責任者を引き受けてくれた友人と準備をし、朝のあいさつ運動と、給食の時間に全クラスを周り選挙活動をしました。人前に立って話すことが苦手なので、その度にとっても緊張し、上手く話せないこともたくさんありました。「こんなことで立会演説会ができるのだろうか。」と何度も不安な気持ちになりました。当日も上手とは言えない演説だっ

たと思いますが、自分の思いを伝えることができたので自信ができました。そしてチャレンジしてよかったと思いました。4月から本格的に活動が始まりますが、先輩方と協力してよりよい勝田二中をつくっていききたいと思います。

2つ目は、部活動です。私は吹奏楽部に所属しています。小学校でも金管部に入っていました。新型コロナウイルスの感染拡大で1年も経たずに活動停止となり卒業を迎えました。そのため、中学校では必ず吹奏楽部に入部するんだという強い思いがありました。憧れていた部活に入部し、この1年で5つの大会に参加することができました。練習は日々楽しく、毎日が充実しています。ただ、大会では練習の努力が実を結ばないこともあり、悔しい思いもしましたが、先輩や友人が励ましてくれて、今はとても感謝しています。仲間がいる喜びを感じることができ、とても貴重な経験ができています。

3つ目は、合唱祭です。私のクラスは、『絆』を歌いました。最初は3つのパートの音量がバラバラでしたが、練習を重ねていくにつれて全員が大きな声を出せるようになり、それぞれのパートのバランスがとてもよくなりました。本番では、クラスのみんが、学級目標のとおり一致団結して歌い切ることができました。5組の「絆」を発表できたように思います。クラスの団結力を出し切った合唱祭でした。

このように充実した反面、学習面では悩むことが多かったように思います。得意教科と苦手教科とでははっきりと差が出るようになりました。苦手な教科ほど時間をかけて取り組んでいましたが、それでも成績はなかなかあがらず悩むことが多かったと思います。中学校では今までの勉強の方法では通用しないことが分かりました。この春休みに苦手な教科にとことん取り組み、基礎からやり直したいと考えています。そして自信をもって2年生に進級したいと思います。

【2年4組 松室 匡亮】



僕はこの1年間で成長できたと思うことが2つあります。

1つ目は、自信をもって行動できるようになったことです。1年生の頃の僕は、あまり自信がなく、自分の意思を相手に伝えられずに同調ばかりでした。しかし、2年生の後期に、勇気を出して学級委員に挑戦しました。そして、3分前着席などの声かけを行う日々の中で、だんだんと自分の考えを伝えられるようになりました。それが自信に繋がったのです。また、学級委員としての責任感も、僕を堂々とした態度で行動できるよう成長させてくれたのだと感じました。

2つ目は、積極的に協力しようと思えるようになったことです。僕は学級委員になってから、助けてもらうことが多くなったように感じています。同時に、助けてもらってうれしいと感じることも増えました。そのうれしい気持ちを周りのみんなに返したい、そう思えるようになったことが、協力することに繋がったと思いました。今、僕は、誰に対しても協力することが大切だと感じています。

一方、改善していきたいこともあります。それは、自分自身の意思表示です。成長できたことの1つ目として自信をもてたと述べましたが、もっと改善したい点があります。その1つが返事です。僕は周りの目を気にしてしまい、返事をするタイミングをはかってしまうことがよくありました。しかし、返事は相手の問いに対して、理解できているという意思表示です。周りの人に合わせた返事では意味がない。自分の判断で返事をするのが大切だと思いました。

もうすぐ僕たちは3年生となります。受験が控えています。そのためにもこれまで以上に勉強に力を入れて、学習面も成長できるようにしたいです。そして3年生は、中学校最後の1年でもあります。決して後悔のないように、たくさんの人との関わりを増やして、たくさんの思い出をつくり、人として大きく成長したいです。

< 学年レクの様子 >



3月22日(水)に2学年が、23日(木)に1学年の学年レクが行われました。1年間ともに過ごした仲間たちとの思い出づくりができました。4月からは、それぞれ進級します。新しい学年・学級になっても、みんなで協力し合って絆を深めていってほしいです。

< 令和5年度 生徒会役員 >



令和4年度修了式の前に、令和5年度の生徒会役員の任命式が行われました。

これから、学校の顔として、仲間たちの中心となって、さまざまな学校行事等で活躍することを期待しています。